

2020年9月15日

パナソニックホームズ株式会社

**パナソニックホームズの建物設計における優秀事例4件を選出
『2019年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』を表彰
～より高いデザインクオリティの設計提案に向けて～**

パナソニックホームズ株式会社は、このたび、毎年、当社の建物設計における優秀事例を選出して表彰する社内制度『2019年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』（以下、当表彰）の最終審査を9月1日に開催、2019年度の優秀事例 全4件を選出しました。

当表彰は、当社の設計従事者の提案力やモチベーションの向上、優秀事例における特長・工夫の水平展開を目的として2016年度から毎年開催。一次・二次の書類審査を経て、最終審査はコンペ形式により、設計者自らが、設計計画をはじめ、オーナー様への提案プロセスについて審査員にプレゼンテーションを行い、総合的な設計提案力を評価する内容になっています。

近年、オーナー様は、新築・リフォームする住宅や事業用建物について、外観をはじめさまざまな空間の設計に自身の感性やこだわりを反映させたい傾向が増えています。当社は、こうしたニーズに、設計従事者が、より高い提案力とデザインクオリティで応えることができるよう、スキルアップに向け、当表彰の開催やさまざまな教育研修活動を図ってまいります。

当表彰では、評価内容により、「設計デザインコース」「空間デザインコース」「事業用物件コース」「リフォーム・海外コース」の4つのコースを設定し、一次・二次審査を実施。9月1日の最終審査では、二次審査を通過した12例の中から、最優秀賞4名と奨励賞2名が決定しました。

今回選出された優秀事例に対する審査員の概評は、オーナー様の住まいに対する思いを引き出して具現化できているか、オーナー様の期待を超えるアイデアや魅力付けができているかが、評価のポイントとなりました。



設計デザインコース 最優秀賞事例 外観(設計:岡山支社)

■ 『2019 年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』 概要

- 名 称 : 『2019 年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』
- 主 催 : パナソニック ホームズ株式会社 設計部
- 審 査 : 応募 2019 年 4 月～12 月・一次審査 2020 年 1 月・二次審査 2020 年 3 月
最終審査 2020 年 9 月 1 日
- コ ー ス : 【新築戸建住宅】 設計デザインコース・空間デザインコース
【事業用物件】 事業用物件コース
【リフォーム物件・海外物件】 リフォーム・海外コース
- 賞 : ① 最優秀賞 (4 例・上記 4 コースのそれぞれにおいて最も優れた事例を選出)
② 新人賞 (4 例・2 次審査通過者のうち、2013 年度以降に定期入社した応募者で
上記 4 コースのそれぞれにおいて最も優れた事例を選出)
③ 奨励賞 (4 例・2 次審査通過者のうち、2016 年度以降に中途入社した応募者で
最優秀賞・新人賞以外の事例を選出)
- 対 象 者 : 支社、協業会社、海外事業部門、パナソニック リフォーム(株)に所属する正社員
のうち、1 級建築士・2 級建築士・インテリアコーディネーターのいずれかの資格を
有する設計従事者
- 対 象 事 例 : 2018 年 10 月～2019 年 9 月完工の事例 ※当社展示場等の用途を除く
- 応 募 総 数 : 325 事例
- 審 査 員 : パナソニック ホームズ(株) 主要役員
建築家 連 健夫 氏(むらじ たけお)

■ 『2019 年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』 表彰事例

● 設計デザインコース 最優秀賞(設計:岡山支社)



【特長】

オーナー様が、居心地や家事動線について一番気にされていたキッチンを中心に据え、敷地特性を生かした「眺望軸」と、オーナー様の「意識軸」という 2 軸をキッチンで交差・具現化させた設計。

【評価ポイント】

提案を進めていく中でオーナー様の思いを汲み取り、こだわりポイントを具現化。2 つの軸をうまく計画の中に取り入れ、デザインされている。

● 空間デザインコース 最優秀賞(設計:東京支社)

【特長】

オーナー様の友人にも自慢できる威風堂々としたたずまいと気品あるラグジュアリーで落ち着いたインテリア計画。中庭を中心に個々の空間を配置し、高級感がありながらも全体の統一感を意識した空間を提案。

【評価ポイント】

対面でのビジュアルを使った提案でオーナー様の価値観を汲み取り、非日常的な空間やご家族それぞれの好みの違いをうまく調和させ、完成度の高い空間に仕上げている。

- 事業用物件コース 最優秀賞(設計:東京支社)

【特長】

商業地の狭小かつ高低差のある敷地に計画した店舗併用住宅。東西に広く間口が狭い敷地のため、採光・通風の取り入れ方に工夫を施し、最上階には北側斜線による勾配天井を活用した明るく、気持ちのよいLDKを計画。

【評価ポイント】

制約条件が厳しい中、収益性を考慮した店舗計画、オーナー様宅は採光の取り入れ方や空間の見せ方など工夫がされている。マイナスの条件をプラスに転換し、難敷地へ対応した高い設計力を評価。

- リフォーム・海外コース 最優秀賞(設計:パナソニックリフォーム(株) 首都圏支社)

【特長】

築 18 年のマンションリフォーム。壁や扉をなくしワンルーム空間にすることで、生活動線を解消し、シンプルで無駄のないデザインを実現。造作家具で空間にメリハリをつけ、照明を効果的に活用。

【評価ポイント】

ワンルームという大胆な提案。ワンルームでありながらも既存の柱や造作家具などを活用したメリハリのある空間でプライベート感も両立できており、動線も良く検討されている。

◎ パナソニック ホームズ エキスパート デザイナーの詳細はこちら

<https://homes.panasonic.com/designer/>